

## 手作りメトロノームを作ってみよう



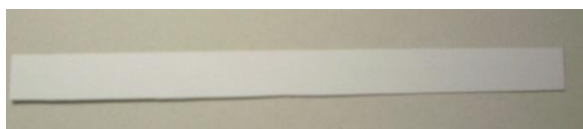
対象・・・小5「ふりこの動き」

特色・・・音楽の授業などで使われるメトロノームには、ふりが利用されています。ふりことは、糸におもりをつけて横に放すと、おもりは行ったり来たりをくり返しますものです。その性質を生かして、おもりの位置を上下してテンポを変えることができます。メトロノームを作って、曲に合わせてたり、演奏したりしてみましよう。

### <準備するもの>

- 工作用紙（長さ 25 c m，幅 2 c m）
- 目玉クリップ
- ペットボトル（2リットル）
- はさみ
- フェライト磁石
- 竹ひご（15 c mくらい）
- ビニルテープ

### <作り方>



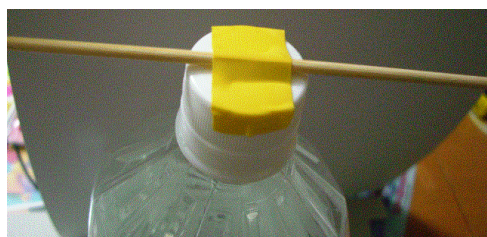
① 工作用紙を長さ 25 c m，幅 2 c mに切ります。



② 工作用紙の先に目玉クリップをつけます。



③ ペットボトルに水を 1.5 リットルほど入れます。



④ 竹ひごをペットボトルのふたにテープでつめます。※しっかり固定しましょう。



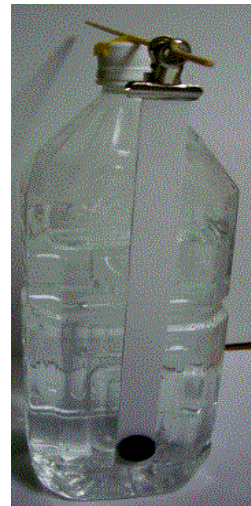
⑤ 竹ひごに目玉クリップを通します。



⑥ フェライト磁石を工作用紙の両面につけて完成です。

### 〈使い方〉

フェライト磁石の位置を変えて工作用紙を横にふってみましょう。フェライト磁石の位置を上下して、テンポを変えることができます。手作りメトロノームで、曲に合わせて演奏したりしましょう。



振り子の長さによって1往復する時間がどう変わるか試してみる。



音楽に合わせてメトロノームを操作してみる。